

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第4号

平成28年3月発行 発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

講演会「幻の相武電車と南津電車」を開催

平成27年6月15日、愛川町文化会館にて、サトウマコト氏を講師に迎え、「幻の相武電車と南津電車」と題して講演会を開催しました。当日は、昭和恐慌で工事が止まってしまった2つの鉄道、町田市鶴川から愛川までの「相武電車」と多摩から津久井までの「南津電車」の歴史を中心に御講演をいただきました。

（講演要旨）

- 大きな川を渡る鉄道橋の建設には、大変なお金と精力がかかる。相模川を渡る鉄道橋は、明治22年の東海道線、明治30年代の甲武鉄道（現：中央線）、昭和2年に小田原急行鉄道、そして、戦後昭和39年に東海道新幹線が通ったのみである。
- 関東大震災で高田橋（木造）が流され、鉄筋コンクリートで架け替える際、愛川村の県議会議員の働きかけにより、鉄道単線分の幅員がなんとか確保されていた。
- 昭和恐慌で工事が滞る中、住民から早期に道路橋を建設して欲しいとの訴えがあり、鉄道橋の建設が頓挫してしまった。
- 愛川町に鉄道を敷くためには、相模川を越す鉄道橋が一番大事なため、こうした研究をしながら自分たちでできることをやっていく必要がある。



講演会の様子

愛川町ふるさとまつりにてPR活動を実施しました！

平成27年10月25日（日）に開催された「愛川町ふるさとまつり」において、小田急多摩線の延伸に係るパネル展示、本協議会のPRチラシや啓発物品の配布、ロマンスカーのペーパークラフト作成体験などを行い、本協議会の活動内容や延伸の必要性について、周知啓発に努めました。



子供に人気！大人も夢中！ペーパークラフト作成体験！！

延伸の実現に向けて要望活動を展開！

町田市、相模原市、愛川町の4つの住民団体が合同で、平成27年10月23日には、国土交通省関東運輸局と小田急電鉄株式会社に対し、平成28年2月4日には、神奈川県に対して、それぞれ要望書を提出し、小田急多摩線延伸の早期実現を目指した協力を強く要望しました。

これに対して、神奈川県副知事からは、「小田急多摩線の延伸は、『かながわ交通計画』に位置づけた路線であり、平成27年度中に取りまとめが予定されている交通政策審議会の答申に位置づけられるよう国に働きかけていきたい」との回答をいただきました。

また、2月12日には、本協議会が単独で愛川町と愛川町議会に対して要望活動を実施しました。今後も、関係する団体と連携しながら、要望活動を実施してまいります。



関東運輸局への要望活動



神奈川県への要望活動

小田急ロマンスカーが海老名駅に停車します！！

3月26日（土）のダイヤ改正から、小田急線、相鉄線、JR線の3つの鉄道が乗り入れる海老名駅に小田急ロマンスカーが新たに停車します。停車本数は、平日が22本（下り11本、上り11本）、土休日が25本（下り12本、上り13本）となり、通勤や観光での移動が便利になります。

愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（43団体）

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区、
愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地工業会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、愛川町商店会連合会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、KAA建築協会愛川、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合《順不同》